

(様式1)

2026年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 029	提案機関名 神奈川県園芸協会
要望問題名 花色、耐暑性等に特長を有するスイートピー新品種の育成	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 前年度に貴センターで発表した「春かなピンク」は、温暖化が進む中で、春先まで草勢を保ち、花色等の形質も優れていることから、生産現場で好評を博している。この流れの中で、「春かなピンク」のピンクと同様に需要の高い、淡紫、サーモンピンク、ローズピンク等の花色を有し、ほぼ同様の栽培管理で生産が可能な新品種を、できるだけ早期に育成していただきたい。また県育成のリップルシリーズやスプラッシュシリーズにも一定の需要が引き続きあることから、これらの花形質を有する春咲き性品種の育成に取り組むこともお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) Ⅱ-1(1) 新たなかながわ特産品の開発 ア 特産品となる新たな品種の育成		
対応の内容等	上記試験研究課題の中で、収穫後期である3月以降に安定した品質の切り花を収穫するための春咲き性品種の育成を目標とし、県内で栽培されている冬咲き性の優良品種と当所保有の春咲き性品種を交配・選抜を続けています。‘春かなピンク’の他に複数の花色の春咲き性系統の選抜を行っており、有望なものについては品種化に向け生育特性調査を行います。また、リップルシリーズやスプラッシュシリーズのような花形質を有した春咲き性品種の育成は実施する予定はありません。		
解決予定年限	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			